

みえか



発行：一般財団法人 三重県環境保全事業団

万葉人の愛した草木 その六十

あしひきの 山の木末の 寄生取りて

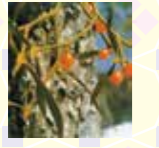
挿頭しつらくは 千年寿くとそ 大伴家持(巻十八の四一三六)

「山の木々の梢に生い榮えるホヨを取って挿頭かざししているのは、千年もの齡よひを願うてのことである。」と、年頭にあたり、天皇をはじめ一同の長寿を祝した歌です。

ヤドリギは、ケヤキやエノキ・サクラ・ブナなどの落葉樹に寄生します。葉を落した巨木などの梢に、鳥の巣のようなものを見かけたら、よく眺めてみましょう。宿主から栄養をもらいますが、自分でも光合成する半寄生の植物です。二月ごろ、黄色い小さな花をつけ、晩秋にオレンジ色の美しい果実になります。この粘り気のある果実をカラスが好んで食べ、このにつけたものを樹皮でふき取る際に種子が樹皮に着き、翌年春には新しい株となります。ヨーロッパではクリスマスの飾り物に使われています。



ほよ



葛山博次著 「万葉集の植物」 補筆より

BCP検証訓練を実施しました！

廃棄物管理部では、2023年10月31日（火）にBCP検証訓練を実施しました。今回の訓練では、地震による大規模な被害を想定し、災害対策本部の設置、携帯無線機等の防災資機材の活用、優先復旧業務の決定、業務再開目標期間の設定などを検討しました。本訓練は、多くの職員が事務所に在席していたときに、地震が発生したという状態から開始されました。職員の安全確認と確保を行いながら、処分場内は、どのような被害を受けるのかについて、職員自身が想定し、対応を図りました。これからも廃棄物管理部では、災害に関する訓練を継続し、防災意識の向上、防災資機材の使用法の再確認及び、より有効なBCPの確立を目指します。



災害対策本部の設置状況



被害の想定・対応状況

お問い合わせ先 廃棄物管理部 管理課 tel 059-328-2567 fax 059-328-2967

河芸社屋 〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地 tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515 フリーアクセス 0120-0592-03 ホームページ <https://www.mec.or.jp>

廃棄物処理センター（廃棄物管理部）新小山最終処分場 〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1 管理課 tel 059-328-2567 fax 059-328-2967 施設課 tel 059-328-2727 fax 059-328-2967

●事業団への御意見・御希望又は「みえか」の御感想をお寄せ下さい。e-mail : mec@mec.or.jp



みえ環境フェア2023

三重県地球温暖化防止活動推進センターでは、三重県（共催）、中部地方環境事務所・中部経済産業局（後援）、三重県産業廃棄物協会（協賛）と、産官学民とのパートナーシップによって「未来のために今、私たちができること」をテーマに「みえ環境フェア2023」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、来場者は、5,000人と、多くの方に地球温暖化防止の啓発を行うことができました。



三重県地球温暖化防止活動推進センター長 朴 恵淑

昨年のステージイベントでは、三重県地球温暖化防止活動推進センター 朴恵淑センター長の進行により、「持続可能なカーボンニュートラル社会三重創生と次世代人材育成」をテーマに県内の大学生、高校生、中学生による活動報告が行われました。



今年は、その流れを汲みながら、なおかつ、若者の位置付けをより鮮明にアピールできるよう「若者と創る持続可能な循環型・脱炭素社会三重創生」として、三重大をはじめ、四日市大学、鳥羽商船高等専門学校、四日市農芸高等学校、桑名高等学校、三重高等学校の学生、生徒の皆さんによる活動報告が行われ、センター長と次世代を担う若者（中高大学生）と共に、若者のSDGs及びCN活動の紹介を行い、強みはさらに強く、弱みは補えるための若者SDGs・CNプラットフォームの構築に向けた活発な意見交換を行いました。



登壇した若者からは、2050年カーボンニュートラルに向けた力強い思いが語られました。



会場では、自然の木の实を使った、松ぼっくりでミニクリスマスツリーやどんぐりクリップ作り、子ども免許証の作成、ミライ地球ガチャ、人力自転車発電体験など、64ブースが出展し、参加した多くの子ども達は環境に対する関心を持ってくれた様子でした。また、食品ロス対策として、もったいない市や高校生による農作物販売も大盛況でした。

お問い合わせ先 三重県地球温暖化防止活動推進センター tel 059-245-7517 fax 059-245-7518 ホームページ <https://www.mec.or.jp/ondan> E-mail mccca@mec.or.jp



日環協 全国大会の技術発表で 最優秀賞を受賞しました

科学分析部 第一分析課 課長 鈴木 淳史

10月19日から20日にかけて開催された、“第30回日環協・環境セミナー全国大会 in 富士のくに”の技術発表で、当事業団 第一分析課 課長の鈴木が「環



境水におけるICP-MS法による水銀分析方法の検討」の題目で最優秀賞を受賞しました。環境水中の金属分析では、環境庁告示59号で定めるICP-MS法が広く用いられ、多元素を一斉に分析することができます。しかし、水銀の分析法は前処理における揮散やメモリー等の問題があり、公定法として還元気化原子吸光度法のみが定められています。



今回の研究では、ビーエルテック株式会社の自動酸分解前処理装置 AATMから密閉系で直接ICP-MSに試料を導入することで、揮散やメモリー等の問題を解決することができ、環境水への添加回収試験による妥当性評価を行った結果、良好な結果が得られました。これまで、ICP-MSで測定できなかった水銀の分析方法を確立できたことが評価されました。今後は、カドミウムや鉛など他の金属分析との一斉分析法について検討する予定です。



建材アスベスト分析の受託を開始しました

大気汚染防止法に基づく石綿障害予防規則の改正が令和4年（2022年）4月に施行されました。それに伴い建築物の解体工事には、事前に建材などのアスベスト含有の有無を調査し報告することが義務付けられました。当事業団では、作業環境測定機関・環境計量証明機関としての長年の実績を活かし、2023年9月からアスベスト分析を実施しています。



分析料金：1検体あたり **20,000円** (税別)

標準納期：5営業日

お急ぎの場合は特急対応費用をいただきますが、翌日速報等ご相談に対応いたします。

解体現場での事前調査（現地調査）をご希望の場合もご相談ください。

お問い合わせ先 科学分析部 営業チーム tel 059-245-7501 fax 059-245-7516



国主催の国際シンポジウムで 気候変動対策の事例発表を行いました

12月14日に東京都で開催された、環境省・国立環境研究所主催の「気候変動適応センター設立5周年記念国際シンポジウム」において、当事業団が運営する三重県気候変動適応センターから事例発表を行いました。



適応センターでは、農林水産、防災、健康、自然、産業等の幅広い分野について、三重県内での気候変動影響と対策に関する情報を収集し、発信しています。

発表では、この情報収集と整理の方法、効果的な情報発信等について、報告しました。

また、情報についての確認作業を通じて、県内の研究機関や三重大学との連携が次第に深まり、県内の研究者のネットワーク化を目指す「みえ気候変動影響と適応研究会」の開催に結び付いていった経緯についても報告しました。

なお、事業団では、社会貢献の一環として、適応センターとともに、三重県地球温暖化防止活動推進センターを運営しています。

気候変動対策の両輪である「緩和」と「適応」の両方を担う組織として、事業団は今後も三重県内における気候変動対策の推進に努めてまいります。



セミナー情報

- ★ ISO14001 (2015) 内部監査員養成セミナー
- ★ ISO9001 (2015) 内部監査員養成セミナー

組織の環境負荷の低減などにつながる環境マネジメントシステムや、品質管理の強化につながる品質マネジメントシステムについて、基となる規格の解説や内部監査の手手法などについて学んでいただけます。

- ① ISO14001 (ZOOMによる遠隔型)
2024年2月1～2日 (9時～17時)
- ② ISO9001 (会場参加型)
2024年2月15～16日 (9時～17時)
- ③ ISO14001 (会場参加型)
2024年3月14～15日 (9時～17時)

すべて参加費：**40,000円/1人** (JIS規格書付・消費税別)

※参加申込者が催行人数に達しないときは、中止する場合がございます。ご了承ください。
※上記の他、企業様に合せた出張セミナーも承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 環境コンサルティング部・セミナー担当
tel 059-245-7509 fax 059-245-7519 ホームページ <https://www.mec.or.jp>